

# 学校だより

平成27年12月発行 鳥羽商船高等専門学校  
広報・公開委員会「広報誌専門部会」  
三重県鳥羽市池上町1番1号 TEL 0599-25-8013



SMA 鳥羽丸トレーニング留学生歓迎パーティー



全国高専ロボットコンテスト2015



海学祭



商船学科卒業式

- 校長式辞
- 就職・進学
- 国際交流
- 校歌と楠井栄八郎先生
- 学生の活躍
- 校外実習・研修・インターンシップ
- 新任教職員紹介
- 学生相談室
- 学校通信



# 校長式辞

平成27年度第四十四回商船学科卒業証書授与式並びに  
第八回専攻科海事システム学専攻修了証書授与式

校長 新田 保次

本日ここに多数のご来賓ならびに保護者の皆様のご臨席のもと、平成二十七年、鳥羽商船高等専門学校「商船学科卒業証書授与式」ならびに専攻科「海事システム学専攻修了証書授与式」を執り行い、今後の社会の産業や科学技術の発展を担っていくフレキシユナ人材を社会に送り出すことができます。ことは、本校教職員・在校生一同にとりまして、この上ない喜びであります。

本日、商船学科を卒業される航海コース二十名、機関コース十三名の皆さんは、五年六ヶ月の高等教育の課程を修了し、準学士の称号を授与されました。また、専攻科海事システム学専攻を修了される二名は、商船学科を卒業後、この二年間でさらに高度な専門知識を修得され、大学評価・学位授与機構の審査にも合格し、近く学士の称号が授与されます。卒業生・修了生の皆さんの今日に至るまでの努力を称えますとともに、皆さんを物心両面から支えて来られた保護者・ご家族の皆様

にも、心からお祝いを申し上げます。商船学科を卒業される皆さんは、本校キャンパスや鳥羽丸における四年六ヶ月の席上課程の他、計一年間に及ぶ大型練習船での実習・訓練を経験されました。このような経験は、一般の高校や大学の教育課程では得られない貴重なもので、皆さんの今後の人生において大きな財産になると思います。

皆さんの多くは、取得した海技免状を活かし、航海士あるいは機関士として海運会社に就職されますが、石油、船舶、あるいは冷凍空調関係のエンジニアとして陸上企業に就職される方もいます。また、さらに勉学を重ねるべく、本校専攻科に進学される方や、国立大学に編入学される方もいます。進路はさまざまですが、皆さんが、本校の教育目標にある「人間性豊かな教養人」、「創造性豊かな技術者」、「国際性豊かな社会人」として、今後ますます成長されることを願っています。

今や世界が高度情報化社会となり、経済・文化のグローバル化が急速に進

展する中で、皆さんは、産業界とくに海事関連分野において、深い専門知識と広い視野を持ち、リーダーシップを備えた、国際人としての活躍が期待されています。今後さらに英語力、コミュニケーション能力等の向上に努めるとともに、世界の多様な文化や歴史、風土に対する理解を深め、本校で培ってきた創造力、実践力を実社会でも存分に発揮できるよう努めてください。

本校は、明治六次教育家の一人、近藤真琴先生によって明治十四年に創設された鳥羽商船を前身とし、百三十年以上の長い歴史と伝統のある学校です。その昔から本校で連綿と受け継がれてきた教育理念、あるいは校風とも言えますが、「進取・礼讓・質実剛健」、この三つを大事にしてください。進取とは、みずから進んで事をなすこと。礼讓とは、礼儀をつくし謙

虚であること。質実剛健とは、飾り気がなく、まじめで丈夫であることです。本校の卒業生・修了生は、国内外のさまざまな分野で活躍しています。今後、皆さんも本校で学んだことを誇りとし、自信をもって力強く人生を歩んでいただきたいと思います。

最後になりますが、本日

ここに三十三名の商船学科卒業生と二名の専攻科修了生を社会に送り出すことができました。これもひとえに保護者の皆様そして関係各位のご理解とご支援の賜物と、本校教職員一同厚く御礼申し上げます。また、ご来賓の皆様にはご多用中のところ、本式典にご臨席を賜り、卒業生・修了生の晴れの門出を祝福頂きましたことに心から御礼申し上げます。

卒業生・修了生の皆さん、鳥羽商船高等専門学校は皆さんの母校であると同時に、社会への旅立ちの母なる港（母港）、ホーム・ポートであります。海学祭あるいは同窓会などの折には、また元気な顔を見せてください。皆さんのこれからの長い人生航路の安全とご活躍を心よりお祈りして式辞と致します。



## 平成27年度商船学科航海コースの進路について



商船学科航海コース主任

片岡 高志

商船学科航海コースの平成27年9月卒業生は20名です。このうち就職が16名（自主就職2名を含む）、進学が4名となりました。就職者の内訳は10名が海上就職で、6名が陸上就職です。海運会社からの求人は、昨年と比較して外航海運会社からの求人はほぼ同じ、内航海運会社からの求人が若干増えました。就職先の内訳を以下に示します。

外航海運では、日本郵船(株)、川崎汽船(株)に各1名が採用されました。また、日本船員雇用促進センター(SECOJ)の外航船員育成スキーム枠に1名が採用されました。近海・内航海運では、日本海洋事業(株)、新日本海フェリー(株)、西部タンカー(株)、田洲海運(株)、東海運(株)及び伊勢湾マリンサービス(株)に各1名が採用されました。ほか海上保安庁の船艇職員採用試験に1名が受験予定です。陸上企業には三井造船(株)に2名、旭運輸(株)及びケイヒン(株)に各1名が採用されました。進学は、推薦による大学編入学で東京海洋大学海洋工学部に1名、本校の海事システム学専攻科に3名が入学しました。

今年度は海上就職率が50%で近年では最低となり、海上から陸上へと進路を変えた者もおります。個々の学生の採用試験の受験機会は例年と変わっておりませんので、一・二級海技士(航海)筆記試験、第三級海上無線通信士、TOEICスコア等が採用試験の結果に大きく影響したものと思われれます。在校生のみなさんは学校の成績だけでなく、各種資格試験の合格を目指すとともに、英語力のスキルアップに勤めるなど日々の努力を怠らないようにしてください。

## 商船学科 機関コースの就職・進学状況について



商船学科機関コース主任

伊藤 友仁

平成27年9月の機関コース卒業生は13名で、全員が就職しました。そのうち、海上就職が6名、陸上就職が7名でした。海上就職は、旭東海運1名、太平洋フェリー1名、新日本海フェリー1名、宇部興産海運1名、鹿児島船舶1名、神原タグマリンサービス1名です。また、陸上就職(海事分野を含む)は、ジャパンマリンユニテッド1名、インターモーダルエンジニアリング2名、山九1名、旭メンテックス1名、三越伊勢丹プロパティ・デザイン1名、マスナリ1名でした。大学および本校専攻科への進学はありませんでした。

平成28年度9月卒業予定者の就職に関しては、学生の学修時間を確保するという総理大臣から経団連への要請により、選考活動開始時期が4月から(平成27年)8月以降となりました。(但し、平成29年度卒業予定者の選考開始時期は6月に早まること予想される(平成27年12月4日時点))

商船学科は、外航船員を養成する目的で設置されています。多くの学生が上級の海技士国家試験(2級、1級筆記)に合格し、船会社への就職にチャレンジしてもらいたいものです。学生の皆さんに伝えたいことは、低学年から英数国・等の、基礎学力をしっかりと身に付けておくと、採用試験(面接試験、学力試験、SPI、適正検査、TOEIC、作文：等々)で必ず役立つということです。課外活動などで丈夫な体を作り、コミュニケーション力を身に付けることも重要です。本校で、学生一人当たりの求人数が一番多いのは機関コースですが、実力がなければ希望する進路には進めません。学生にとって大事なことは、低学年時から十分将来に備えることです。

## 電子機械工学科の就職・進学状況



電子機械工学科長

古森 郁尊

平成27年度の電子機械工学科5年生24名の中で、進学希望者は5名、就職希望者19名です。現在、全員の進路が決定しています。

今年度も、電機産業、工作機械メーカー、製薬関連、エネルギー関連、自動車関連、交通関連など幅広い企業から、就職希望学生数を大きく上回る求人数でした。本当にありがたいことです。

就職状況について、今年は、活動時期が例年と異なりましたが、学生の第一希望企業への就職率は、およそ84%でした。しかし、企業側の人材選別は年々厳しくなっていることも事実であり、複数企業を受験する場合もありました。この原因の多くは、不十分な企業研究です。今後、就職活動を行う上で、日ごろの勉強以外に、普段から希望企業の情報収集をはかり、その情報に対し自分なりの見解を持つことが大切と痛感しました。ここで、就職の時、最も重視されるのは、やはり協調性と社会性です。クラブや同好会活動を通し、培われるものも多くあります。現在、課外活動を行っている学生は学業との両立をはかり是非最後までやり遂げてください。

進学状況について、今年度の進学率はおおよそ20%です。進学率は例年と同じ程度で、全て推薦受験(合格率100%)でした。興味のある学問分野があれば、推薦が無くても学力試験で希望する大学に挑戦してほしいものです。

学生諸君、「君たちの将来の門戸は君たちが思っている以上に広い！」したがって、自分が何をしたいかをよく考え、自主的かつ積極的に行動することが何より大切です。

## 制御情報工学科の進路状況



制御情報工学科長

江崎 修央

本年度は、9月30日時点で5年生37名のうち、28名が就職、9名が進学で、全員進路が決定しております。

就職に関しては、売り手市場で、希望した全学生が10月初めの内定式に参加できました。また、就職先についても大手企業が中心で、製造業はもちろん、電力会社や運輸業など多様な業種に就くこととなっております。

進学は、留学生が筑波大学に合格した以外は、豊橋・長岡の技術科学大学および本校専攻科に決まりました。

昨年度の12月頃から、授業時間などを利用してクラス全員で「キャリアデザイン」について考え、自己分析、業界調査、エントリーシートの書き方などに取り組んできました。その効果もあってか、多くの学生は1社目の受験で合格してきました。

ただし、この取組に消極的だった学生は、やはり就職活動で苦勞していたように見受けられます。就職先・進学先を決めるといことは、自分の将来像を描く上で非常に重要な活動です。自己分析をしつかり行い、これら何をやりたいかを明確にした上で、自分の考えやこれまでの成果を相手にうまく伝えられるようにすることが重要です。

進路が決定した皆さん、社会人になるとまとまった時間を自分のために確保することは難しくなりますから、今のうちに自己研鑽に励んでください。また、4年生以下の皆さんは、授業・試験以外に何に取り組んでいますか？明日就職の面接があったとしても自己PRがすぐに出来るような努力を続けましょう。

## 専攻科の就職・進学状況



専攻科長

宮崎 孝

専攻科の就職状況ですが、全体的には長期化したものとなりました。就職活動は、3月から提出書類の準備を行い、ほとんどの学生が4月中旬に希望の1社目へ書類を提出しました。4月から5月にかけて採用選考やマッチング面談が行われ、早い学生は5月上旬に内々定をもらっています。学校推薦による就職がほとんどで、多くの学生が1社目か2社目で合格となっております。ただし、中には苦勞した学生もいて、最終的に生産システム工学専攻で就職希望者全員が内定をもらったのは、9月下旬となっております。就職活動のスケジュールの変更の影響もあるかと思いますが、全体的には売り手優位となっております。就職への意識が弱い学生のみが苦勞した印象があります。また、生産システム工学専攻の進学希望者が、大学院を受験予定です。

就職準備のための一歩としてインターンシップがあります。専攻科からは、サントリーグループ、シンフォニアテクノロジー(株)伊勢工場、菱電工機エンジニアリング(株)、丸三証券(株)、日本システム技術(株)、マレーシア国立マラ工科大学のインターンシップに参加しました。今年度の就職先にも、前年度のインターンシップ先であった企業があります。今後も、積極的にインターンシップに参加して欲しいと思います。

就職活動のスケジュールが再度変更となる話もありますが、対応できるような学生の支援を行っていきたいと思います。

### 平成27年3月及び平成27年9月卒業生進路先一覧(順不同) 平成27年9月30日現在

#### 商船学科

- 就職先 日本郵船(株)、川崎汽船(株)、太平洋フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、宇部興産海運(株)、西部タンカー(株)、田沼海運(株)、日本海洋事業(株)、イースタンマリンシステム(株)、鹿児島船舶(株)、伊勢湾マリンサービス(株)、神原タグマリンサービス(株)、(株)テムマリタイム、旭東海運(株)、三井造船(株)、ジャパンマリンユナイテッド(株)、旭運輸(株)、ケイヒン(株)、山九(株)、(株)マスナリ、(株)三越伊勢丹プロパティ・デザイン、インターモーダルエンジニアリング(株)、(株)旭メンテックス
- 進学先 東京海洋大学海洋工学部、鳥羽商船高専専攻科(海事)

#### 電子機械工学科

- 就職先 中部電力(株)、東レ(株)、東海旅客鉄道(株)、日本電産(株)、富士電機(株)、東ソー(株)、東芝エレベーター(株)、(株)日立ビルシステム、三菱電機ビルテクノサービス(株)、日本オーチス・エレベーター(株)、(株)帝国機械製作所、村田機械(株)、テバ製薬(株)、安川エンジニアリング(株)、(株)メイテックフィルダース、(株)NTTファシリティーズ東海、シンフォニアエンジニアリング(株)、(株)エム・システム技研、旭電器工業(株)、三重金属工業(株)、(株)大阪シェル、松田工業・松田精工(株)、(株)カンセツ、(株)テクモ、ケー・アイ技術(株)、村田ツール(株)、ANAラインメンテナンステクノクス(株)
- 進学先 豊橋技術科学大学 工学部、長岡技術科学大学 工学部、電気通信大学、鳥羽商船高専専攻科(生産)

#### 制御情報工学科

- 就職先 (株)東芝 四日市工場、中部電力(株)、東海旅客鉄道(株)、中部テレコミュニケーション(株)、(株)LIXIL、住友電設(株)、荏原環境プラント(株)、(株)日立ビルシステム、(株)沖電気力スタマアドテック、美和ロック(株)、ダイキンエアテクノ(株)、(株)NTTファシリティーズ東海、シンフォニアエンジニアリング(株)、NTTコムエンジニアリング(株)、(株)NTTフィールドテクノ、株式会社エヌ・ティ・ティ・ネオमित、日光化成(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・エムイー、国際ソフトウェア(株)、NECネットエスアイ・エンジニアリング(株)、富士ゼロックス三重(株)
- 進学先 豊橋技術科学大学 工学部、鳥羽商船高専専攻科(生産)

### 平成27年3月及び平成27年9月専攻科修了生進路先一覧(順不同) 平成27年9月30日現在

#### 海事システム学専攻

- 就職先 (独)航海訓練所、(株)三越伊勢丹プロパティ・デザイン

#### 生産システム工学専攻

- 就職先 (株)東芝 四日市工場、富士電機(株)、DIC(株)、サントリーブロダクツ(株)、中部テレコミュニケーション(株)、デンソーテクノ(株)、サンリットオートメイション(株)、(株)NTTファシリティーズ 中央、(株)NTTファシリティーズ 東海、富士ゼロックス東京(株)、テラテック(株)、菱電工機エンジニアリング(株)
- 進学先 豊橋技術科学大学大学院

# 国際交流

## MEELキャンプに参加して

商船学科航海コース3年  
松浦 一真

MEELキャンプとはシンガポールに滞在し、現地  
の学校 (Singapore Maritime Academy: SMA) の  
学生との交流や観光、客船への乗船等を通して外国  
の文化を学ぶ研修です。また、シンガポールの海運  
関係の企業訪問もMEELキャンプの一環です。今回  
私たちは7日間シンガポールに滞在し、3日間客船  
(Super Star Gemini) に乗船しました。

シンガポールではSMAの学生と一緒にマリ  
ナ・ベイ・サンズやマライオンパークといった有  
名な観光地や学校のシミュレーション施設等を訪れ  
ました。

企業訪問では日本郵船の中核船舶管理会社である  
NYKシップマネジメントの本社を訪問し、企業活  
動等の話を聞き、社内や  
施設を見学することが  
できました。

様々な場所を訪れ、話  
をして友人も作るこ  
うな活動もできる  
一方、シンガ  
ポールの学生や一般の方  
との会話の中で自分達の  
英語力やこれからの課題  
がわかり、とても貴重な  
時間を過ごすことができ  
ました。



## SMA鳥羽丸トレーニング

制御情報工学科3年  
山際 成美

私は鳥羽丸トレーニング  
に参加し、シンガポ  
ルマリタイムアカデミー  
の学生と一緒に7日間過  
ごしました。このプログ  
ラムでは、最初の三日間  
は鳥羽丸内での実習で、  
船内の見学や操船を行  
いました。次の三日間は津  
の造船所の訪問や名古屋  
市内の施設の見学を行  
いました。

私達と一緒に行動したグループは日本の食文化に  
ついてとても関心がありました。彼らから日本食に  
ついてのたくさん質問や要望を受け、出来るだけ  
それに応えられるように計画し、一緒に楽しみまし  
た。

彼らからも様々なことについて教えてもらいま  
した。特に、文化の違いに関するところがとても多か  
つたです。日常生活から外出先のお店などで一つづ  
つ教えてもらい、私たちも彼らに教えることにより英  
語と文化と一緒に学び合いました。

私は今回の行事に参加したことにより、かけがえ  
のない友人も増えました。これからも様々な行事に  
参加し、もっと経験を積んでいきたいと思えます。



## 教員英語外地研修について

商船学科  
窪田 祥朗

平成27年8月29日から9月17日まで、ハワイ州立  
大学カウアイコミュニティカレッジ (KCC) にお  
いて、海事人材育成プロジェクトの教員英語外地研  
修に参加してきました。この研修は、商船学科の専  
門科目における英語の利用促進、英語による授業展  
開を目指し、国立商船系高専の教員向けに、特別に  
デザインされた英語研修プログラムです。研修は、  
英語の語学研修だけでなく、プレゼンテーション方  
法と技術の習得、ハワイ文化への理解を深めること  
も目的とされています。特に、アメリカでは、プレゼ  
ンが重要視されており、  
この研修でも、プレゼン  
に関する講義に力を入れ  
ていると感じました。研  
修の最後には、各自で  
テーマを選定し、研究発  
表会で成果を発表してき  
ました。

研修期間中、生活環境  
が全て英語だったため、  
英語で相手に用件を伝え  
なければならず、必要に  
迫られると必死的に勉強  
するものだと、身をもつ  
て感じる事ができました。  
これらの貴重な経験を  
、学生の皆さんに還元  
できればと考えています。



KCC 正面玄関



発表風景

# 校歌と楠井栄八郎先生

名誉教授 水野 逸夫

## 1. 太平洋戦争と戦没船員

平成27年は終戦70周年の節目の年であった。太平洋戦争中、戦死した船員数は約6万6千人。戦死率は43%の高率であり、これは軍人（陸軍20%、海軍16%）をはるかに上回っている。また全戦没船員の30%が20歳未満の少年であったことは痛ましい事実である。本校に関しては、卒業生の戦死者は約230名。その中で昭和16、17、18年度の席上課程修了者が合計70名も亡くなっている。

## 2. 本校の新校歌の作詞者、楠井栄八郎先生

楠井先生は明治44年、鳥羽市小浜町生まれ。何校かの小学校の訓導を経て、昭和16年4月、本校の国語教官に着任した。「万葉集の講義など、口角泡を飛ばして没入する熱血教師であった。」と、ある卒業生は述懐している。着任した年の12月、日本は太平洋戦争に突入。軍事教育色が強まり、教え子であった卒業生の戦死の報が次々ともたらされる中、先生はどのような思いで日々を過ごされたのであろうか。昭和26年10月、本校の創立70周年記念行事慰霊式に発表された追悼歌は、先生の作詞によるもの

であり、その思いの一端を示すものとしてここに掲げる。

戦後数年。ようやく平和の日々が訪れ、先生が居を構えた坂手島に平穏な海が甦った。

海鳥の ひいろひいろと 朝ざくら

俳人であった先生の代表作である。校歌の3番に「心はずむ海鳥我等」とあるように、この句では、海鳥、朝ざくらは実景であると同時に、心の中で商船学校の生徒が二重写しになっていることが容易に感じられる。

さて、校歌である。作曲者の植村茂は追悼歌を作曲した本校の英語教官、植村芳男の子息で東京音楽学校を卒業している。制定日時は不明であるが、本校が官立鳥羽商船学校から国立鳥羽商船高等学校になった昭和26年4月1日と考えるのが自然である。明るい行進曲風のリズムにのって、青春の誇りと喜び、未来への希望を歌い上げた名作と感ずるのは私だけではないだろう。

## 3. その後の楠井先生

先生は昭和28年8月、鳥羽高校教諭に転出し、志

摩高校教諭を経て、昭和43年10月、鳥羽市教育長に就任した。昭和44年10月、本校創立90周年記念行事の主任として同窓会により建立された「鳥羽商船学校関係物故者慰霊碑」の除幕式が挙行された。この碑の裏面に記された碑の由来文は先生の起草によるものである。

先生は伊良子清白の弟子として詩歌を学び、清白研究論文を国文学専門誌に発表している。昭和46年には楠井不二のペンネームで、「評伝 伊良子清白」と句集「海」を発刊している。昭和50年に64歳で逝去された。

創立七十周年記念慰霊式追悼歌

教官 楠井栄八郎 作詩  
教官 植村芳男 作曲

(1) やい みく 一 せき 一 めん て ふ な ぢ もり 一 わすつ  
(2) い く し 一 せき 一 めん て ふ な ぢ もり 一 わすつ  
(3) に けい 一 せき 一 めん て ふ な ぢ もり 一 わすつ

まか 一 ぬち みか 一 なけ さり に とかい しにづ  
だけ 一 ちき かま 一 なな びや の かい しにづ

びと 一 かつ 一 けえ て しし おつ きはた  
とえ 一 とわ 一 ひた 一 へた ああ な たか ふなし としこ  
のふ 一 おあゆ 一 しま 一 への ああ な たか ふなし としこ

創立七十周年記念慰霊式追悼歌

# 学生の活躍

## 高専プロコンで特別賞！

制御情報工学科2年  
濱口 実弓

10月11日12日に、全国高専プロگرامミングコンテストが長野県で開催されました。私達のチームは「素敵な劇しすシステムを発表しました。特徴は、小学生でもパワーポイントで劇の演出を作成でき、さらに人の動きに合わせて小道具やシーンの切り替えができます。実際に鳥羽小学校に向いて小学生に利用してもらいました。

本選までは、あっという間に月日が過ぎ、気がついたら二週間前になっていて、それからは毎日寝不足、精神的にも追い詰められました。でも、本選では今までの苦労が全て報われました。いろんな企業や一般の方が私たちのシステムを見て、使ってみたいと言ってくれました。嬉しかったし、とても誇らしく、自信がつかれました。他の高専のシステムも見て回り、中には感動させられるものがいくつもあったけど、内心は私たちのシステムが



一番だと思っていました。だからこそ、特別賞という結果がすごく悔しく感じましたし、納得できませんでした。来年の鳥羽大会でリベンジしたいと思っています。

## ロボットコンテストを通して

電子機械工学科4年  
奥田 崇礼

私は入学当初の一年生の時からロボット同好会に入部して活動しており、二年生の時から部長を任せられました。しかし、入部当初から毎年初戦敗退続きで、お世辞にもよい結果が残せたとはいえませんでした。今年は部員も経験を積み、技術も向上し、また新入部員も多数入ったことから、開発の状況も大会の数週間前には動作テストが出来るなど、今までのの中では最もよいペースで進んでいたのでも内心何勝かは出来ると思っていました。しかし結果は初戦敗退というとても悔しく、また勝利は簡単には掴めないと思いつけられました。結果としては残念なものとなってしまいましたが、一方で、後を引き継いでくれる後輩達にはある意味いい経験になったとも思っています。彼らもまた同じ思いをしたからです。後輩たちは入部当初から知っている



が、毎年確実に彼らの技術は向上していると感じています。今年はそれを結果に結びつけることができず残念でしたが、来年にはきつと結果として出してくれると私は信じています。今後の彼らの活躍を乞うご期待！

## ソーラー&人力ボート全日本選手権大会2015に参加して

商船学科航海コース5年  
加賀 風季

2015年8月21日から23日に愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターで開催された、ソーラー&人力ボート全日本選手権の人力ボート部門に参加しました。

この大会はソーラーパワーまたは人力を用いて推進する手作りボートのレースで、毎年1回日本人力ボート協会の主催で大会が開催されています。大会の種目は、200mスピードレース・1000m周回レース・1時間耐久レースの3種目があり、ボートのスピードだけでなく、ボート自体の耐久性・操縦性などが求められます。このボートレースに本校では、2007年から商船学科の鎌田先生とその卒業研究学生達を中心としたチームで参加しています。目標は「去年より速く」で、先輩たちが作成した船体やプロペラを少しづつ改良しています。

今年の大会は晴天に恵まれ、初日の耐久レースは同じ学生部門で参加していた韓国から参加の「釜山大学」に2周の差をつけることができました。ところが、次の日のスピードレースでは

推進力を伝えるギアが壊れてしまい、完走はできたものの順位を大きく落としてしまいました。

しかし、レース中去年までの最高速を大きく上回る8.5ノットを記録することができました。

今年の学生総合優勝は「釜山大学」でしたが、来年は今年の失敗をもとに良い結果を出して欲しいです。ボートレースは色々トラブルもあり大変でしたが、勉強する事がたくさんありとても良い経験でした。



## 初めてコンテストに参加して

制御情報工学科4年  
奥田 健斗

私達のチームは、船舶事故防止のためのシステムを開発し第三回学生スマートフォンアプリコンテストで最優秀賞をいただきました。

私はコンテストへの参加は未経験でしたが、今までにしたことのない新しいことに挑戦したいと思い参加しました。

プログラムで何かを作るといのは授業でしかたことがなく、開発をするということがどのようなものなのかわかっていませんでした。しかし、システムの開発に携わることによりその面白さがわかりました。自分達が作ったシステムを実際に使いたいと言っても作らえたことは非常に嬉しかったです。また、チーム内でそれぞれの役割を持ってその責任を果たしていくことはプレッシャーもありましたが精神的にも成長する事ができました。

コンテストへの参加は授業だけでは学べないことを学べ、様々な人との関わりを持つことができ、とても価値があります。これからも色々なコンテストに挑戦してがんばっていきたいです。

### 第3回学生スマートフォンコンテストに参加して

制御情報工学科3年  
世古口 英大

コンテストに参加する前の僕は、プログラミングが不得意でした。2年生の末に、自身のスキル向上のために次年度のコンテストに参加を決意しました。春休みから、毎日プログラムと向き合うことで、ものができる喜びを感じながら取り組む事ができました。

作成した「チャリンコRobot」というアプリは、学生が普段から利用している自転車とスマートフォンを活用し、危険運転を検知した場合リアルタイムで警告します。また、危険箇所をマップに表示して閲覧できるようにすることで自転車事故を未然に防ぐこと

ができるシステムです。

全国から17チームに選ばれ本選が行われました。ハザードマップとリアルタイムで警告を行うという点が評価され優秀賞をいただきましたが、同校の4年生チームが最優秀賞を受賞しました。正直、悔しかったですが、自分に足りなかった部分を見直し、次に生かしたいと思います。

初めてのシステム開発には多くの苦労がありました。チームメンバーや教官など、いろいろな人に支えられました。役割分担して作業を行うなかで、協力がなければ完成させることができなかったと思います。当初の目的であるスキルアップを達成するだけでなく、技術者としての人間関係の重要性も学ぶことができました。これからもアプリ作りを継続して今年以上の作品を生み出してコンテストに応募したいです。

### 第50回全国高等専門学校体育大会柔道競技

商船学科1年  
田中 美和

平成27年8月23日、私は宮崎県で行われた「第50回全国高専大会」に出場してきました。初めての全国大会という場所で、うまく試合に臨むことができるのかとても不安でしたが、それまでの普段の部活の中で、先輩方やコーチの方に教えていただいたことや、夏休みという限られた時間の中で一生懸命練習したことを思い出し、本番では自分なりの精一杯の力で試合に臨むことができました。そして、そのおかげで

初戦を無事勝ち抜くことができました。生まれて初めて、このような大きな大会で勝つことができたので、本当に嬉しかったです。二回戦目では、相手にポイントを取られてしまい、勝つことはできませんでしたが、自分の見直すべき部分や、今後の部活で努力していかなければならない部分を知ることができた試合でした。

今回の経験を通じて、大会で出会った多くの他高専の先輩方のように、私も堂々とした試合ができるようになりたいと強く思い、そのため

にこれからは自分が大会で学んだことを生かして、日々の部活でコツコツと努力していこうと思います。



### 第70回国民体育大会

商船学科航海コース3年  
中村 修造

商船学科機関コース3年

町谷 拓飛  
柴田 蘭乃

第70回国民体育大会セーリング競技に三重県420級の代表として出場してきました。和歌山の豊かな海に恵まれ、

気持ちよくセーリングが出来ました。まず、出場に当たりたくさんの方々にお力添え頂いたことをこの場をお借りし感謝申し上げます。



さて肝心の競技はというと、各県が県民の思いを背負い、白熱した雰囲気の中進んでいきました。私達の艇も、ここまで登ってきた夢への階段の高さと三重県民の期待をかみしめながら、競技に臨みました。団体は、今までの、決してたやすくはない道のりにふさわしい最高の舞台でした。日本中のトップ選手が集まり、そして1位を目指し帆走する中に自分たちがいて、真剣勝負をしていることにとても充足感がありヨットを始めてから一番楽しかったセーリングでもありました。

後輩へと夢のバトンを繋いでいけるよう、部活動に邁進していく所存でありますので、本校ヨット部への一層のご理解とご協力をお願い致します。

### 平成27年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技に出場して

商船学科機関コース3年  
大塚 美紗

私たち少林寺拳法部は兵庫県姫路市で開催された全国高等学校総合体育大

会に出場してきました。本校からの3名を含めて三重県代表として合計8名の選手が日頃の練習の成果を発揮し、技を競い合いました。少林寺拳法の競技は一人で演武をする「単独演武」、二人で技をかけ合う「組演武」、そして六人で「単独演武」と「組演武」を組み合わせる「団体演武」があります。私は「単独演武」に出場し、他の二名は「組演武」に出場しました。昨年に比べ、出場選手が増え、会場は活気にあふれていました。競技が始まると会場は緊張感に包まれ、観客席からは応援の声が飛びかいました。他校の選手の演武は、自分にとってすごく魅力的で、大きな刺激になりました。

これからも少林寺拳法を続けるに当たり、観客を魅了するような演武ができるように日々精進していきます。



## 大会報告

制御情報工学科4年  
西浦 勇氣

今回参加した、第九回東海地区大学高専対抗戦は団体戦のみの大会です。まず、今回の空手の競技として団体形、団体組手の二つがあります。形は3人1チームであるきまった動作を正

確に行い、技のキレ、どれだけそろっているかなど、さまざまな点で評価される競技です。組手も3人1チームとなります。先鋒、中堅、大将の順に試合します。一対一で突き、蹴りなどの技を掛け合い、あるポイントに技が入ると点数が入ります。そして、勝敗は勝ち数で決まる競技です。

今回の大会での団体組手では力及ばず負けてしまいました。団体形では私たちが空手部の練習の成果、団結力を発揮することができ、優勝という結果に結びつけることができました。普段からチームで大会の結果を残すことを目標として練習していたので、チームの自信へと繋がりました。

そして、今後の大会へと意気込むと同時に、今回の結果に満足せず、これからも一生懸命部活動に励んでいきます。



## 海学祭を終えて

制御情報工学科5年  
松葉 太雅

10月31日から11月1日の2日間、本校にて第50回海学祭が開催されました。2日間天候にも恵まれ最高の海学祭日和の中、開催できたことを学生会役

員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。第50回ということで学生会では様々なアイデアを出して、新たな試みを実行しました。

ポスターの掲示を近鉄に依頼し、鳥羽駅など伊勢志摩の主要駅構内に貼って頂きました。さらに初めてライブにアイドルグループを呼ぶことができました。

イベントでは仮装コンテストを実施しました。前日がハロウィンということもありコンテストに出場しない人も仮装をした学生が多くみられました。そして鈴鹿高専の学生が来校し、交流を深めることができました。

昨年よりもパワーアップした海学祭を開催することができたと思います。学生のみならず一般の方々も楽しんでる姿を見て嬉しかったです。来場者の方々、学生、教職員のみならずのおかげで今年も素敵な海学祭にすることができました。ありがとうございました。



## ISTTS2015国際シンポジウムへの参加

生産システム工学専攻科1年  
島影 瑞希

私は、8月上旬にマレーシアで開催されたISTTS2015というシンポジウムに参加しました。これはマラヤ工科大学にて8日間に渡って開かれ、マラヤ工科大学の学生と各高専の代表学生(主に専攻科生)、アジア諸国の大学生数名が参加した、国際的な研究発表と学生交流のイベントです。プログラムはもちろん全て英語でした。

このシンポジウムでは、各国の学生混合でチームを組み、議論を行うワークショップに参加しました。ワークショップは学生が大学周辺の町を訪れ、その場で問題発見と解決策を考案するものです。ここでは英語でどう話せば意見が伝わるのか、どうすれば効率よく進むかなど多くのことを学べました。また解決策についてのプレゼンではチームのアイデアを高く評価され、ISTTSにおいて賞を頂きました。大きく異なる文化・マナーを持つ学生たちとの交流は難しくも、新しい考え方を発見でき、これから私が研究や仕事で新しいアイデアを考える際に糧となるような体験でした。



# 校外実習・研修

## リーダーズトレーニングに参加して

制御情報工学科5年 松葉 太雅

9月22日から23日にかけての1泊2日で、鈴鹿青少年センターにてリーダーズトレーニングが行われました。リーダーズトレーニングとは各部活の部長や学生会、寮生会の有志による、良きリーダーになるための研修です。本校スクールカウンセラーの宗田美名子先生を、講師として招いて講義が行われました。1組6人程度のグループになり、グループワークを行いました。「集団でのコミュニケーション」では、実際に体験を通して、話す事、聴く事の阻害要因を知ることができ、効果的な聞き方のできる条件を学ぶことが出来ました。



## リーダーズトレーニングに参加して

商船学科2年 尾寄 広夢

商船学科2年生の尾寄広夢です。私は9月22日と23日に鈴鹿青少年センターにて行われたリーダーズトレーニングにラグビー部の代表として参加しました。

初日の22日はまず「集団でのコミュニケーションスキルの習得」という講義を受け、どういったことがコミュニケーションの障害になるかや、その解決方法を学びました。次に、

「グループ活動とコンセンサス（全員の合意）による集団決定」をテーマとし、グループワークを行い、サバイバルで生き抜く為の条件の決定を例とし、コンセンサスによる集団決定を体験し、そのプロセスに気付くとともにコミュニケーションスキルの上達を目指しました。夕食後は、クラブ活動を安全に行うための問題点と対策をクラブごとに話し合い、最終的には各クラブから発表を行いました。普段知らないクラブのことが分かり、興味深かったです。

23日は、朝の運動でバトミントンの準備運動の体験をしました。その後、長島スパランドに移動し、肉フェスに参加し美味しいお肉をたくさん食べました。学生にとっては高価な肉でしたが美味しかったです。今後、このリーダーズトレーニングをとおして学んだことをクラブ活動で活かしていきたいです。

# インターンシップ

## ANAでのインターンシップに参加して

電子機械工学科4年 新原 良健

私はこの夏、ANA整備部門のインターンシップに参加しました。整備作業実習では、実際に飛行機に使われていたモックアップで、タイヤ・エンジン・主翼・客室の点検整備を体験しました。飛行機は離陸すると着陸するまでは整備をすることができないので正確な作業が要求されます。小さな工具ひとつからチェックシートに沿って確認するよう

な作業も当然ミスが許されないものです。と同時に緊迫した雰囲気の中で丁寧な作業を覚えていただいた整備士の皆さんの言動から、働くことに対する姿勢を直接学ぶことができました。今回は5日間という期間でしたが、責任を伴う現場で働く人たちの「充実感」を目の当たりにし、座学では決して学ぶことのできない貴重な体験をすることができました。ボルトの締め方から教えていただいた現場の方をはじめ、会社の方、送り出した現場の方を、大変お世話になりました。



飛行機のタイヤ点検実習

今回のインターンシップで学んだことを来年の就職活動に生かしていきたいです。

## オムロン制御教育キャンプに参加して

制御情報工学科4年 山本 大雅

私はオムロンと高専機構が共同で主催している制御教育キャンプに参加しました。キャンプの内容は、集まった他高専の学生と3人で班を組み、交流をはかりながら、協力してシステムを開発するものです。

課題は「吊り上げた荷物の揺れを最小限に抑えつつ素早く搬送するシステム」を5日間で開発することでした。アームの付いている3軸ロボットを使用し、糸のついたサイコロを極力揺らさずにテーブルの穴に落とすというものです。私たちの班は4段階ある課題のうちレベル2「回転するテーブルの穴にサイコロを落とす」まで達成できました。予定ではもっと進むはずだったのですが機器のエラーが起これたり、ロボットが思うように動かないということもあり予定通りに進みませんでした。

このようなシステム開発では機械とプログラム両方のエラーを完全に取り除かなければ商品にならないので、とても苦労するものだと実感しました。5日間にやるべきことが多い地獄のキャンプでしたが、他高専の学生と一緒にシステム開発ができる貴重な体験となりました。



# 新任教職員紹介



総務課長  
**入吉 修**

本年4月1日付で総務課長として着任した入吉修と申します。実は一昨年前の12月に観光で伊勢神宮を訪れたのですが、その時は、この近くに住む事になるとは想像もしていませんでした。

私は埼玉県出身ですが、両親が高知県土佐市の出身であり、祖先は海に関係した仕事についていました。その影響か、海が好きでした。小中学校の卒業文集には「船乗りになりたい」と書いていたほどです。夢はかないませんでしたが、今、こうして鳥羽商船高専で働けることに感動を覚えています。

新たな業務を始めてから、日々様々なことが起こり、困惑し苦悩することがしばしばあります。それでもやり遂げて帰る時の達成感に、とても満足しています。「無理だ」「出来ない」とあきらめるのは簡単ですが、「これではどうかな」「ここまでやろう」と、できることを考えることが大切だと思っております。そして、その思いを周囲にも波及させたいと考えています。新たな環境、新たなメンバーで、やり遂げたときの「達成感」を大切に貢献できたいと思っております。



鳥羽丸甲板員  
**秋山 武彦**

本年4月1日より練習船鳥羽丸の甲板員に着任いたしました秋山武彦と申します。

私は平成二十二年に鳥羽商船高等専門学校 商船学科航海コースを卒業し、内航貨物船に乗船勤務、国内各港間で主にセメント輸送に携わってきました。

この度、御縁があり本校に戻ってまいりました。

この鳥羽商船高等専門学校は船舶職員を養成する学校ですので、中には「卒業して部員で働いてるの?」と思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、自身の母校で後輩を直接指導出来る鳥羽丸に勤務することができ、とても光栄に思っております。

母校に戻ってきて、自身の学生時代とは少し変わった部分もありますが、すごく懐かしく学生時代の記憶が鮮明によみがえってきています。内航海運での経験は4年少々でしたが、私が船乗りとして学んだことや経験してきた楽しかったこと・辛かったことを少しでも多く伝えていければと思います。

その結果、船をもっと好きになって、より多くの学生が船で働きたいと思える実習となるよう協力をしていきたいと思っております。

私自身まだまだ未熟者でございますので、ご指導の程どうぞよろしくお願いたします。

# 学生相談室



学生相談室員  
**辻 織世**

## 相談室へ来てみませんか

こんにちは。

学生相談室の辻織世です。学生相談室では、私のほかに学生相談室員の先生方やスクールカウンセラーがいます。開いている時間は、いつでも利用できます。皆さんが、充実した学校生活を送れるよう一人ひとりの相談に親身になってサポートしていきますので、けっして一人で悩まず、抱えこまず、困ったことや悩むことがある時は学生相談室を利用してください。一人で苦しんだりせず、学生相談室を思い出してほしいと思います。また、相談したことの内容は守られますので、安心してください。皆さんの心の健康と、学校生活が楽しく充実したものになることを願っています。最後になりましたが、学生相談室が、皆さんにとって、心の元気を充電する場所になれば、と思っています。いつでも、学生相談室で待っています。どうぞよろしくお願いたします。

## \*学生相談室利用の案内\*

- 月曜日～金曜日
- 10時15分～16時45分
- 潮騒会館 2階 学生相談室
- 直接、来訪してください。



スクールカウンセラー  
**早川 武彦**

## スクールカウンセラーから学生の皆さんへ

はじめまして。本年度からスクールカウンセラーとして勤務しています。

これまでに何人かの学生さんとお話をさせていただきました。自分の性格や行動のことで悩んでいたり、学生同士の付き合いや先生たちとの関係に困っていたり、部活動や親子関係の悩みだったり、多くは対人関係に関するものでした。悩みの内容や大きさは人によって違えども、悩むということは、辛くてしんどいことです。ですが、悩みに向き合う過程というのは、成長するチャンスにつながります。

人は、直接的に、間接的に、誰かとつながり、関わって生きています。他者の存在なしには生きられないのが現実です。「人間は社会的動物である」とアリストテレスが紀元前に語っています。人を悩ますのは人であり、人を変えてくれるのも人といえます。

語るということは、感情を言語化し、自分の考えを整理することにつながります。気持ちが行き詰ったり、自信を失いかけたりした時に、誰かの助けを借りるということは恥ずかしいことではありません。一人で抱え込まず、気軽にカウンセラー室にお越しください。

## 工場見学

平成27年10月14日(水)～10月16日(金)に制御情報工学科4年生、平成27年10月21日(水)～10月23日(金)に電子機械工学科4年生の工場見学を実施しました。就職活動の一環として、企業における実践的な技術を見聞することにより、技術系の仕事と企業への理解を深めることを目的としています。制御情報工学科は、トヨタ自動車(株)トヨタ会館・元町工場、マイクロソフト(株)品川本社、三菱重工業(株)相模原製作所研修センターを、電子機械工学科は、(株)東芝四日市工場、NTN(株)桑名製作所、長野オリンパス(株)、東洋電機製造(株)横浜製作所を見学しました。

## 平成27年度専攻科(海事システム学専攻)入学式挙行

平成27年度専攻科(海事システム学専攻)3名を迎える入学式が10月1日(木)に挙行されました。

新田校長から「これからの学校生活において一層の知的包容力の向上を期待します」と祝辞が述べられた後、新入生代表から「グローバルな視点で状況を正しく認識して問題を解決できるリーダーシップを備えた立派な海事従事者となるよう、精一杯取り組んでいきます」と挨拶がありました。

新たな門出を迎えた新入生たちは、希望に満ち溢れた表情で会場を後にしました。



## フィールドワーク

平成27年10月21日(水)に2年生のフィールドワークを実施しました。教育活動の一環として、社会に対する視野を広めさせることを目的としています。商船学科は、飛鳥コンテナターミナルと、ぼーとおぶなごや2に乗船し名古屋港を海上から見学しました。

電子機械工学科と制御情報工学科は、青山高原ウインドファームを見学し、伊賀市のホテルでテーブルマナー講座を受講しました。

## NPO法人 故郷の海を愛する会を後援

平成27年7月24日(金)

鳥羽商船高専の練習船に乗って、造船所見学

平成27年11月1日(日)

海学祭に参加し郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう

平成27年12月12日(土)

もうすぐクリスマス遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

## 公開講座・出前授業実施

### 公開講座一覧 サイテクラッド in 鳥羽商船

講座名称	開催日時
英文多読入門講座	8月5日(水)
mini 水車を作って、水道水で発電しよう!	8月18日(火)
ソーラーで動くおもちゃ工作	8月19日(水)
いちごジャムでマイコンプログラミング	8月24日(月)
「ロボット×クラウドでプログラミング」	8月25日(火)
3Dプリンタでオリジナルスマートフォンスタンドを作ってみよう	8月26日(水) 8月27日(木)

### 秋の公開講座

講座名称	開催日時
小学生のためのバレーボール教室	10月10日(土)

### 出前授業一覧 体験学習

講座名称	開催日時
暑い夏を涼しく! 『オリジナルうちわ』をつくってみよう!	8月20日(木)
LEGO ロボットを作ろう (初級)	11月3日(火)
オリジナル下敷きを作ろう! LEGO ロボットを作ろう (初級)	11月12日(木)

### その他の講座

講座名称	開催日時
みえアカデミックセミナー	7月14日(火)
鳥羽商船高専の練習船に乗って造船所見学	7月24日(金)
B & G オーシャン'S キャンプ in 志摩半島	7月27日(月)～29日(水)
練習船「鳥羽丸」の一般公開と体験航海 (四日市港まつり)	8月2日(日)
みんなでたのしく遊ぼう! ロボット教室 (池上地区青少年健全育成会)	10月24日(土)
練習船「鳥羽丸」による名古屋港 PR 活動及び一般公開	11月7日(土)・8日(日)
もうすぐクリスマス遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話	12月12日(土)

## 編集後記



学校だより第83号をお届け致します。

本号では、学生の国際交流への参加やクラブ活動、各種コンテストへの取り組みなど、今の学生の能動的な活動を数多く紹介しています。様々な課題に向き合い、それを克服していく本校学生のたくましい姿の一端をお伝えできれば幸いです。

また、就職に関わる社会状況の変化や、本年度の学生の進路状況を、併せてお知らせ致します。

(山下記)